



## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.x の新機能

---

- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4a の新機能](#) (1 ページ)
- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4 の新機能](#) (1 ページ)
- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.3 の新機能](#) (2 ページ)
- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 の新機能](#) (3 ページ)
- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 の新機能](#) (3 ページ)

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4a の新機能

このリリースに新機能はありません。このリリースでは、[CSCwh87343](#) : Cisco IOS XE ソフトウェアの Web UI における特権昇格の脆弱性が修正されています。詳細については、「Security Advisory: [cisco-sa-iosxe-webui-privesc-j22SaA4z](#)」を参照してください。

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4 の新機能

#### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4 のソフトウェア機能

機能名	説明
LISP VXLAN ファブリックでのワイヤレスのサポート	<p>LISP VXLAN ファブリックは、ファブリック対応ワイヤレスとオーバーザトップ (OTT) 集中型ワイヤレスの2つのモードでワイヤレス インフラストラクチャとワイヤレスクライアントをサポートします。</p> <p>ファブリック対応ワイヤレス展開では、ワイヤレス インフラストラクチャが有線ファブリック ネットワークと統合され、有線およびワイヤレスクライアントに単一のオーバーレイを提供します。</p> <p>OTT ワイヤレス展開では、ワイヤレス インフラストラクチャは、従来のワイヤレストラフィックを伝送するための転送メディアとして有線ファブリックネットワークを使用します。</p>

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4 でのハードウェアとソフトウェアの動作の変更

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.4 では動作の変更はありません。

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.3 の新機能

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.3 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.3 のソフトウェア機能

機能名	説明
有線ネットワーク用の LISP VXLAN ファブリック	<p>LISP VXLAN ファブリックは、キャンパスおよびブランチネットワーク全体に渡り LISP ベースのファブリックオーバーレイ上でポリシーベースのセグメンテーションを可能にするエンタープライズソリューションです。これには、LISP ベースのコントロールプレーンと VXLAN ベースのデータプレーンを使用します。</p>

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.3 でのハードウェアとソフトウェアの動作の変更

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.3 では動作の変更はありません。

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 の新機能

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 のソフトウェア機能

このリリースでは、新しいソフトウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 でのハードウェアとソフトウェアの動作の変更

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 では動作の変更はありません。

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 の新機能

### Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 のハードウェア機能

機能名	説明とドキュメントのリンク
C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールのマルチレート SFP	<p>Cisco Catalyst C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールでは、次のマルチレート SFP がサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SFP-10/25G-CSR-S</li> <li>• SFP-10/25G-LR-S</li> <li>• SFP-40/100G-CSR-S</li> </ul> <p>これらのモジュールについては、『<a href="#">Cisco 25GBASE SFP28 Modules Data Sheet</a>』および『<a href="#">Cisco 40GBASE QSFP Modules Data Sheet</a>』を参照してください。デバイスの互換性については、『<a href="#">Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix</a>』を参照してください。</p>

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 のソフトウェア機能

機能名	説明
Cat9400X での自動ネゴシエーション	Cisco Catalyst C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールで、速度 25G 以上の銅線ベースの SFP モジュールでの自動ネゴシエーションのサポートが導入されました。
同じインターフェイスでの出力 SPAN による DHCP スヌーピング	非 SDA 展開用に、同じインターフェイスで DHCP スヌーピングと出力 SPAN を同時に設定するためのサポートが導入されました。
9400X ラインカードポートでの MACsec HA	C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールで構成されたシステムのラインカードポートでの MACsec ハイアベイラビリティのサポートが導入されました。
9400X スーパーバイザポートでの MACsec XPN サポート	C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールでの MACsec 拡張パケット番号付け機能のサポートが導入されました。
9400X での無停止型 PoE のサポート	C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールでの無停止型 POE のサポートが導入されました。無停止型 POE は、電源装置スイッチが起動中であっても、接続されている電源供給を受けるデバイスへ中断なく電力を提供します。この機能のサポートが導入されました。
プログラマビリティ <ul style="list-style-type: none"> <li>• YANG データ モデル</li> <li>• Pubd の再起動可能性</li> </ul>	<p>このリリースでは次のプログラマビリティ機能が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• YANG データモデル：このリリースで使用できる Cisco IOS XE YANG モデルのリストについては、<a href="https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/1791">https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/1791</a> を参照してください。</li> </ul> <p>YANG ファイルに埋め込まれているリビジョン ステートメントは、モデルのリビジョンがあるかどうかを示します。同じ GitHub の場所にある README.md ファイルに、このリリースに加えられた変更がまとめられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Pubd の再起動可能性：このリリースでは、pubd プロセスはすべてのプラットフォームで再起動可能です。このリリースより前は、pubd は特定のプラットフォームでのみ再起動可能でした。他のプラットフォームで pubd プロセスを再起動するには、デバイス全体を再起動する必要がありました。</li> </ul>

機能名	説明
<p>ポリシーを使用したスマートライセンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データプライバシー関連情報を送信する新しいメカニズム</li> <li>• ホスト名のサポート</li> </ul>	<p>このリリースではポリシーを使用した次のスマートライセンス機能が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データプライバシー関連情報を送信する新しいメカニズム：この情報はRUMレポートに含まれなくなりました。</li> </ul> <p>データプライバシーが無効になっている場合 (<b>no license smart privacy {all hostname version}</b> グローバル コンフィギュレーション コマンド)、データプライバシー関連の情報は、別の同期メッセージまたはオフラインファイルで送信されます。</p> <p>実装したトポロジに応じて、製品インスタンスが別のメッセージでこの情報の送信を開始するか、CSLUおよびSSMオンプレミスが製品インスタンスからのこの情報の取得を開始するか、またはこの情報が <b>license smart save usage</b> 特権 EXEC コマンドを入力すると生成されるオフラインファイルに保存されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ホスト名のサポート：ホスト名情報の送信のサポートが導入されました。</li> </ul> <p>製品インスタンスでホスト名を構成し、対応するプライバシー設定を無効にすると (<b>no license smart privacy hostname</b> グローバル コンフィギュレーション コマンド)、ホスト名情報が別の同期メッセージまたはオフラインファイルで製品インスタンスから送信されます。</p> <p>実装したトポロジに応じて、ホスト名情報はCSSM、およびCSLUまたはSSMオンプレミスによって受信されます。その後、対応するユーザーインターフェイスに表示されます。</p>
<p>バンドルモードでのSMUインストールの無効化</p>	<p>SMUインストールのサポートは、バンドルモードでは無効になっています。インストールはインストールモードでのみサポートされています。</p>
<p>9400Xでの432ポートチャネルのサポート</p>	<p>Cisco Catalyst C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールでは、Cisco StackWise Virtual は、レイヤ2またはレイヤ3モードで展開された最大432のMECをサポートします。EtherChannel 127 および 128 は、SVL 接続用に予約されています。EtherChannel ポートは次のように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ポートチャネルごとに8ポートを備えた1～128</li> <li>• ポートチャネルごとに4ポートを備えた129～192</li> <li>• ポートチャネルごとに2ポートを備えた193～432</li> </ul>
<p>9400Xでの4K VLANのサポート</p>	<p>Cisco Catalyst C9400X-SUP-2 および C9400X-SUP-2XL スーパーバイザモジュールでの4KアクティブVLANのサポートが導入されました。</p>
<p>PI SSHのサポート</p>	<p>次の暗号化アルゴリズムに対するCisco IOS SSH サーバーおよびクライアントのサポートが導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="mailto:aes128-gcm@openssh.com">aes128-gcm@openssh.com</a></li> <li>• <a href="mailto:aes256-gcm@openssh.com">aes256-gcm@openssh.com</a></li> </ul>

機能名	説明
9400XでのアップリンクとダウンリンクでのSVLのサポート	<p>Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1以降、SVLおよびDADリンクは、次のSUP-2およびSUP-2XLと、すでにリストされているラインカードでサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SUP 10G - SUP 10G</li> <li>• SUP 25G - SUP 25G</li> <li>• SUP 40G - SUP 40G</li> <li>• SUP 100G - SUP 100G</li> <li>• C9400-LC-48XS - C9400-LC-48XS 10G</li> <li>• C9400-LC-48HX - C9400-LC-48HX 10G</li> <li>• C9400-LC-24XS - C9400-LC-24XS 10G</li> <li>• C9400-LC-48UX - C9400-LC-48UX 10G</li> </ul>
SXPバージョン5	SXPバージョン5は、指定されたSXPピア間のSXPマッピングをエクスポートおよびインポートするように設計されています。

#### WebUIの新機能

このリリースにWebUI機能はありません。

## Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 でのハードウェアとソフトウェアの動作の変更

動作の変更	説明
カスタムSDMテンプレート：デフォルトのFIB MACアドレス値	<p>カスタムFIB MACアドレスの最小値/デフォルト値は16Kです。1kエントリの数の設定可能な範囲は16～128です。</p> <p>Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1以降、これは後続のすべてのリリースに適用されます。</p>
SPANセッションでキャプチャされたDHCP出力パケット	デバイスでDHCPスヌーピングが有効になっている場合、SPANセッションはDynamic Host Configuration Protocol (DHCP) 出力パケットをキャプチャします。
1G以下の速度のSFP/インターフェイスを無効にする	<p>1G以下の速度のSFP/インターフェイスは、Cisco Catalyst 9400Xシリーズスイッチではサポートされていません。</p> <p>Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1以降、これは後続のすべてのリリースに適用されます。</p>

動作の変更	説明
MTU パケット長	17.9.1 より前では、デバイスは最大許容パケット長を超える 4 バイトを送信していました。このリリース以降、デバイスは、標準許容パケット長に従ってパケットを送信します。
PTP : BMCA ツリー階層	PTP (Precision Time Protocol) プロファイルは、Best Master Clock Algorithm (BMCA) からツリーを作成するように変更されています。PTP トポロジのポートの障害を避けるために、BMCA はスパンニングツリープロトコル (STP) から独立しています。
RUM レポートスロットリング	<p>製品インスタンスが通信を開始するすべてのトポロジで、レポートの最小頻度は 1 日に制限されます。これは、製品インスタンスが 1 日に複数の RUM レポートを送信しないことを意味します。</p> <p>影響を受けるトポロジは、CSSM に直接接続、CSLU を介して CSSM に接続 (製品インスタンス開始型通信)、CSSM から切断された CSLU (製品インスタンス開始型通信) および SSM オンプレミス展開 (製品インスタンス開始型通信) です。</p> <p>これにより、特定のライセンスに対して生成および送信される RUM レポートが多すぎるといった問題が解決されます。また、RUM レポートの過剰な生成によって引き起こされたメモリ関連の問題とシステムのスローダウンも解決します。</p> <p>特権 EXEC モードで <b>license smart sync</b> コマンドを入力すると、レポート頻度のスロットリングを無効にできます。これにより CSSM または CSLU、あるいは SSM オンプレミスとのオンデマンドの同期がトリガーされ、保留中のデータが送受信されます。</p> <p>RUM レポートスロットリングは、17.3.x トレインの Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.6 以降のリリース、および 17.6.x トレインの Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 以降のリリースにも適用されます。Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 以降、RUM レポートスロットリングは後続のすべてのリリースに適用されます。</p>
<b>show vlan mapping</b> コマンドの出力	<b>show vlan mapping</b> コマンドの出力が変更されました。5 GigabitEthernet インターフェイスに関する情報が出力に表示されます。





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。